

シュローダー・マルチアセット・ビュー

グローバル市場見通し

2023年
8月

見通しの表示： ● 強気 ● 中立 ● 弱気 矢印：対前月での見通しの引き上げ/引き下げ

株式	国債	社債	コモディティ（商品先物）
ソフトランディングシナリオは、株式にとって支援材料ですが、株式バリュエーションは割高であるほか、企業収益には圧力がかかりつつあります。	足元での先進国債券市場の下落は、特に米国のデフレーションを引き上げる機会であると判断することから、強気の見通しに引き上げました。	強気の見通しを維持しており、中でもキャリーの水準が相対的に魅力的であることから、欧州投資適格債券を愛好しています。	供給サイドの圧力が戻ると考えることから、景気後退入りするまでの間、戦術的な投資機会があると考えます。

資産クラス	分類	見通し
株式	米国	ソフトランディングシナリオは、米国市場にとって支援材料である一方で、バリュエーションは割高の水準となっています。
	欧州	インフレ圧力が継続する中、製造業およびサービスセクターのデータが減速しており、欧州のファンダメンタルズは軟調であることから、弱気の見通しを維持しています。
	日本	堅調な日本企業のファンダメンタルズや国内需要が、日本株式の支援材料となると判断することから、強気の見通しに引き上げました。
	アジア（除く日本）	中国のバリュエーションは魅力的と判断する中、景気刺激策など、上昇につながるカタリストを待っている状況です。中国以外のアジア株式の見通しについても中立としています。
	新興国	世界の財のサイクルは引き続き重しですが、ラテンアメリカを中心にインフレが鎮静化する中、新興国の中央銀行による金融緩和は支援材料と考えます。

最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

資産クラス	分類	見通し
国債	米国	 足元での下落（金利上昇）は米国国債にとって投資機会であると考えます。イールドカーブがスティープ化する可能性を考慮し、短期債券を 선호しています。
	欧州 (ドイツ国債)	 予想を下回るインフレや欧州経済見通しの減速は、欧州国債の支援材料と考えます。
	新興国 (現地通貨建て)	 インフレ抑制という点で、新興国の中央銀行は先進国の中央銀行の先を行っているほか、より高い利回りは投資家にとって魅力的なインカムを提供します。
	インフレ連動債	 5年のブレイク・イーブン・インフレ率の水準が魅力的であるほか、インフレ圧力が低下しなかった場合、インフレ連動債はインフレに対するプロテクションとして機能することが見込まれます。
投資適格社債	米国	 デフレーションリスクを伴うほか、キャッシュと比べた利回り水準の魅力度が低くなっています。ただし、企業のファンダメンタルズは引き続き堅調であることから、中立の見通しを維持しています。
	欧州	 キャリーがポジティブであることから、欧州投資適格債券への選好を維持しています。金利が安定化した場合に恩恵を受けるほか、米国よりもバリュエーションの魅力度が高くなっています。
	新興国 (米ドル建て)	 バリュエーションが割高の水準となっています。ファンダメンタルズは底堅い一方で、新興国市場は中国の経済成長や世界のコモディティサイクルへのエクスポージャーがあります。一方、供給水準が低いことがテクニカルズ面での支援材料です。
ハイイールド社債	米国	 供給水準が低く、市場が縮小方向にあることが、スプレッドの支援材料となります。銘柄間のバラつきが高まっていることには注視が必要です。
	欧州	 欧州のバリュエーションは米国よりも魅力的な水準となっています。より高いクオリティのクレジットを 선호し、中立の見通しを維持しています。

最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

資産クラス	分類	見通し
コモディティ (商品先物)	エネルギー	 引き続き供給がタイトであり、一時的に在庫減少の兆候がみられることから、強気の見通しを維持しています。
	金	 実質金利や米ドル高のピークアウトから、恩恵を受けることが見込まれます。ただし、ボラティリティが高いことから、より広範なコモディティを選好しています。
	産業用金属	 経済成長見通しは減速が見込まれますが、製造業サイクルの回復の可能性はあるほか、在庫の減少が支援材料となると考えます。

資産クラス	分類	見通し
通貨	米ドル	 インフレの鎮静化はドルにとって重しとなりますが、株式のベータが低いことや、キャリアが魅力的であることから、ポートフォリオの分散は期待されます。
	ユーロ	 欧州経済データは減速を示していますが、インフレ率は高位での推移が続いています。
	日本円	 日本銀行はイールドカーブ・コントロールを調整しましたが、短期的には円高が進む可能性は低いと考えます。

出所：シュローダー。社債に関する見通しは信用スプレッド(デレージョン・ヘッジを前提)の動きに基づくものです。ユーロと日本円は対米ドルの見通しとなります。

【本資料に関するご留意事項】 本資料は、情報提供を目的としてシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した資料であり、いかなる有価証券の売買の申込み、その他勧誘を意図するものではありません。本資料に示されている運用実績、データ等は過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。また外貨建て資産の場合は、為替レートの変動により投資価値が変動します。本資料中に記載されたシュローダーの見解は、策定時点で知りうる範囲内の妥当な前提に基づく所見や展望を示すものであり、将来の動向や予測の実現を保証するものではありません。市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。本資料は、作成時点において弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されており、内容の正確性あるいは完全性については、これを保証するものではありません。本資料を弊社の許諾なく複製、転用、配布することを禁じます。シュローダー/Schrodersとは、シュローダーplcおよびシュローダー・グループに属する同社の子会社および関連会社等を意味します。

最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会